

第11回 情報科学シンポジウム

スーパーコンピュータ「京」の世界一までの
軌跡とその活用
～実際の開発現場を指揮した開発者の視点から～

井上愛一郎（元富士通フェロー。現在、学校法人清風学園 常勤顧問）
伊藤則之（元富士通CADプロジェクト部長。現在、東北学院大学 教授）

©RIKEN

2017年10月20日（金） 18:30～20:30

東北学院大学 ホーイ記念館ホール

（仙台市青葉区五橋二丁目7-25 仙台市営地下鉄五橋駅から徒歩約5分）

※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

入場無料（事前申し込み不要）

2009年の事業仕分けにおいて、「2位じゃだめなんではいしょうか」という指摘により開発継続が危ぶまれたスーパーコンピュータ「京」は、その後開発者の努力により2011年に性能指標TOP500において見事に世界1位の計算性能を実現しました。

このシンポジウムでは、スーパーコンピュータ「京」の頭脳に相当するプロセッサの開発を長く指揮してきた開発者が、世界一になるまでの開発の軌跡・苦労やその後の活用事例について、中学生から大人までわかりやすく語ります。スーパーコンピュータについて興味のある方、どのように活用されているのかを知りたい方、どなたでも参加ください。

主催 東北学院大学教養学部情報科学科

後援 河北新報社 仙台市教育委員会

問合せ先：東北学院大学教養学部情報科学科

Tel/Fax: 022-773-3318

e-mail: secretary@cs.tohoku-gakuin.ac.jp

